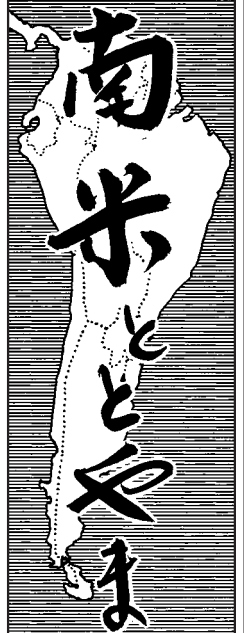


南米協会30年のあゆみと交流



発行所
富山県南米協会
〒930-0096
富山市舟橋北町4-19
電話 (076)441-6148
FAX (076)444-2179
北陸銀行県庁内支店
普通預金口座1098740
郵便振替口座00760-8-5145

南米協会設立30周年記念号

6月20日(土)、定期総会の後、午後2時30分から富山市の名鉄トヤマホテルにおいて、石井隆一富山県知事、高平公嗣県議会副議長、伊東尚志町議会副会長、宮腰光寛衆議院議員等多数の来賓のご臨席を得て、約三〇名が参加し「富山県南米協会設立30周年記念式典」が開催された。



鹿熊会長

最初に鹿熊安正会長が登壇し、次の旨、挨拶をされた。「梅雨の晴れ間に、石井知事、副議長、ブラジル県人会根塚会長、林顧問をはじめとする多くのご来賓の臨席のもとで、設立30周年記念式典を挙



石井知事からの祝辞

次に、来賓の祝辞として、石井知事が次の旨、挨拶をされた。「さわやかな暑い初夏、貴協会設立30周年記念式典が高平副議長、宮腰衆議院議員、ブラジル県人会の根塚会長、林顧問等のご出席の下、盛大に開催されたことを、心よりお祝い申し上げます。感謝状を受けられた皆様には長年にわたるご尽力に敬意を表するとともに、今後益々のご活躍をお願い申し上げます。貴協会は、昭和54年の設立以来、6回の訪問団の派遣、

感謝状贈呈



感謝状と記念品の贈呈

アンサ富山村開村50周年に際し、大訪問団を派遣し交流が進んだ。当初は、移住者への慰問激励のつもりが、逆に現地で教訓を得て交流が未来に繋がることの共通認識ができ、機運が高まり、本会が設立された。その後、会員のご尽力と県市町村等のご理解と支援によって友好親善が進められたことに感謝を申し上げます。現在、県西部を中心にブラ

来賓からの祝辞

ポルトガル語教室の開催、現地への図書贈呈など、熱心に交流に取り組んでいただいた。また、富山在住のブラジル人にコシヒカリの贈呈など、心温まる活動に感謝申し上げます。今回、ブラジルから来県された根塚県人会長、林顧問をはじめとする県人の皆様には、越中魂を発揮され、現地の発展のため、大きな役割を果たされたことを、本当に有り難く思っている。県では、南米訪問団の派遣や、県費留学生、研修生の受け入れ、奨学金や日本語教師



県会議長代理 高平副議長

続いて、県会議長代理として出席の高平副議長より、「今日は貴協会設立30周年記念式典が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。父(故高平公友参議院議員)が初代会長を務めさせていただいた。今日、家を出発する際、母から「私が設立30周年の節目のときに副議長として挨拶できることは大変光栄である」と前置きし、樞敬信議長の祝辞を代読された。「貴協会は、昭和54年の設立以来、南米の県人会等との交流を深められ、留学生の支援、機関紙発行など積極的に友好親善に努められ、大きな成果を収められた。昨年のブラジル日本移民百年記念写真展には、主催者として参画され、日系人について多くの県民の理解と関心を集められた。これまで、役員と会員の皆様方の並々な熱意により、産業経済、教育・文化の交流が進められた。貴協会には、今後とも頼りになる南米の架け橋としてご尽力ご活躍に期待申し上げます。」

次に伊東尚志町議会副会長(上市町長)から魚津龍一町議会長のメッセージを代読された。「貴協会設立30周年記念式典が盛大に開催されますこと、県内町村を代表してお祝い申し上げます。南米諸国は大変遠いが、身近な地域であり、日本を熱く支援してくれる国々が多い。日系人は現地の人々から高い賞賛を受けていると聞いた。これも先達の遺産と思う。これまで、南米諸国との交流、留学生の受け入れを続けてきた貴協会の活動を皆で支える必要がある。今後、南米諸国との交流がゆるぎない絆となるよう益々のご活躍をお祈りする。」更に、鈴木達男JICA北陸支部長から事業の紹介後に「私は、パラグアイ、ブラジルでの勤務や本部で南米課長の経験があり、貴協会の30年の交流活動を嬉しく思う。カンピナス大学の医療プロジェクトの際には、サンパウロで富山県出身者と歓談したことが思い起こされる。移住した日本人が果たした役割は大きく、ジャポネス・ガラシードとしてゆるぎない信頼を得ている。富山からの移住も南米開発に多大なる貢献をしている。貴協会のためまねご活躍を期待申し上げます。」との言葉を頂いた。



絵画の贈呈

そして、祝辞の最後は、宮腰光寛衆議院議員から「貴協会設立30周年記念式典、心よりお祝い申し上げます。鹿熊会長には長年にわたり、南米との掛け橋としてご尽力され、心より敬意を表する。農林水産副大臣の時にブラジルを訪問し、大歓迎を受けた。第三アリアンサ村も訪問し、日本語学校なども見学し、(本県の派遣教員が)頑張っておられる姿も見た。貴協会におかれては、今後とも南米との架け橋の役割を果たされ、心と心の付き合いを深め、頑張ってもらえるようご尽力いただきたい。」との激励を頂いた。ここで、来賓の方々のご紹介と祝電が披露された。最後にブラジル県人会・根塚会長から御祝の品として「パンタナウ・デ・シユヴァ(雨の大湿原地帯)」(作・田中重人)という絵画の贈呈があり、鹿熊会長に手渡されて、式典を終えた。

記念講演会



記念講演 根塚 弘会長

式典に続き、ブラジル県人会からお祝いに来県された二人の記念講演会に移った。まず、根塚 弘会長から、

「移住して47年、私が出会った忘れえぬ人々」と題し、移民船でサントス港に到着した頃に世話になった人との貴重な出会いについて、講話された。聴衆は、根塚会長の当時の話に熱心に聞き入った。



林忠行顧問から図書の贈呈

記念シンポジウム

最後のシンポジウムでは、一単位で、富山県から現地に（二期2年）派遣された経験者の組織である富山アリアンサ会の皆さんにより、「富山とブラジルとの文化交流における日本語学校の役割と課題」と題し、パネリストの現職教員5名の体験発表と討論が行われた。

パネリストの現職教員



コーディネータ役は、沢辺暢之先生（現在・石動高校勤務・昭和60年から一期派遣）が務めた。

務めた。

第三アリアンサに派遣された経験者としては、①長谷川正志先生（富山西高・昭和56年）、②西村勇嗣先生（秋浦小・平成3年）及び③福本仁志先生（大門中・平成12年）の3名が発表した。

一方、高岡市のアルミ企業の進出から交流が深まったミランドポリスに派遣された経験者として

は、④堀井祥照先生（志貴野中・平成5年）及び⑤西森千香子先生（野村小・平成17年から二期）の2名が実情報告した。いずれも、パワー



パワーポイントによる発表

記念交流懇談会



平村理事長

冒頭に米国N・Yを拠点に活動するアンデス民謡G・W A・Y・N・O（ウエイノ）谷中秀治代表・富山市）の「コンドルは飛んでいく」の生演奏の後、主催者を代表して、平村国光理事長が、次の趣旨で挨拶された。

来賓等スピーチ

村井宗明衆議院議員から「貴協会設立30周年を心よりお祝い申し上げます。南米移住された方は大変なご苦労をされた、そのおかげで相互の文化交流が進められた。格闘家の前田光世氏の功績で日本の柔術が南米で広まり、発展し

南米諸国との交流推進を期待します 五十音順

北日本印刷株式会社 代表取締役社長 川口 秀春 富山市草島	有限会社河合呉服店 代表取締役 河合 常晴 南砺市城端	株式会社小川温泉 代表取締役社長 鹿熊 裕二 朝日町湯ノ瀬	魚津清掃公社 代表取締役 廣瀬 和夫 魚津市大光寺	射水建設興業株式会社 取締役社長 夏野 麗子 射水市小島
新栄建設株式会社 代表取締役 高平 剛 立山町大清水	坂井石油株式会社 代表取締役 坂井 昭二 立山町坂井沢	有限会社酒井工業コンサルタント 代表取締役 酒井 佐和子 朝日町草野	高新工業株式会社 代表取締役 高平 伸 立山町大清水	北日本新聞社 代表取締役社長 河合 隆 富山市安住町
	道路技術サービス株式会社 代表取締役 山本 光夫 射水市橋下条	株式会社タカギセイコー 代表取締役社長 笠井 千秋 高岡市二塚	高岡地方交通株式会社 取締役社長 渡邊 守人 高岡市末広町	株式会社新日本コンサルタント 代表取締役会長 市森 武 富山市吉作

たり、現地とのつながりを大事に交流にご尽力を頂き、感謝申し上げる。また、今回、講演に来県されたブラジル県人会の根塚会長、林顧問は、富山高校の同級生である。成長する経済大国で、資源豊かなブラジルとの友好関係を大事に、今後も貴協会の発展を心からお祈りする。」とのスピーチを頂いた。

途中には、南米出身の参加者に富山の雰囲気を感じてもらうため、北日本民謡舞踊連合会の皆さんによる民謡や踊りが披露され、和やかな雰囲



長勢甚遠衆議院議員



村井宗明衆議院議員



懇親会の様子



設立30周年記念 式典あいさつ

富山県南米協会会長 鹿熊 安正

梅雨の晴れ間に日差しがまぶしい頃になりました。本日に、石井富山県知事、高平県議会副議長をはじめ、県選出国会議員及び県議会、市町村議会議員の皆様、更には、大変なご苦勞をされ、現代の日本人よりも日本人らしい。その人々に報いることはとても大切なことと思う。皆で力を合わせて、本協会の益々の発展及び富山と南米、日本と中南米の一層の交流促進を心から祈念する。」との中締め挨拶があり、盛会のうちに散会した。

富山県南米協会設立三十周年記念式典を開催できますことは、私のこの上ない喜びであります。

また、南米諸国に移住された身内のおられる富山県海外移住家族会の皆様にも、私も南米協会の会員同様に、ご出席いただいております。

富山県南米協会は、南米諸国との緊密な交流のもとに友好親善を図ることを目的に昭和五十四年十月、県及び市町村、南米訪問経験者、海外移住家族会など関係の皆様のご理解とご支援により、設立されました。

かつて富山県から南米諸国には、明治末期以来、2千人を超える移住者を送り出してあります。昭和の初めに県が、サンパウロ州にアリアンサ富山移住地、三千二百五十八ヘクタールを確保された奨励策も大きく貢献しております。

戦後、移民が再開されましたが、国内の高度成長に伴い、次第に下火になりました。

一方、その間に現地では、ブラジル、アルゼンチン及びペルーの三カ国にそれぞれ富山県人会が結成され、県内に

は、留守家族により海外移住家族会ができております。さらに、昭和47年にYKK、不二越など県内企業によるブラジルへの工場進出が相次いだにもかかわらず、未だ県の行政、経済、文化など各界を挙げての交流組織が無い状態でありました。

そのような背景の中、昭和四十九年には、当時の中田知事が「第4回富山県青年の船」の一行、八十七名を率いて南米3カ国を訪問されました。次いで五十二年には、ブラジルのアリアンサ富山村開村五十周年記念式典に際し、県内から経済界、自治体関係者を含む百十八名の訪問団をチャーター機により現地に派遣し、外務省など関係者を驚かせました。

これらは、主に移住者の労働をねぎらうための訪問でありました。ところが、実際に訪問してみると、かつて南米に夢を抱いて雄飛された本県出身者が、筆舌に尽くし難い苦難を克服して、安定を築かれた忍耐及び開拓の情熱に打たれ、さらに私達が失いつつある日本の古き良き伝統が開拓村に残っており、南米からの視点で、客観的に我が身と日本を振り返る機会になることが理解されてきました。

このような交流が大きな原動力となって、機運が高まり、当時の中田知事に名誉顧問に就任いただき、参議院議員を務めておられた高平公友先生

を初代会長として富山県南米協会が発足したのであります。

以来、本会は、南米との友好親善を推進された中田前知事をはじめ、県議会や市町村、企業の皆様の暖かいご理解とご支援のもとで多彩な事業を続けてまいりました。昭和六十年には、そのユニークな活動が評価され、外務大臣表彰を受けております。

我が国は、過去に長い不況と余剰人口への対応に苦慮し、国策として海外移住を奨励した時代を経験し、近年は逆に南米から日系人が県西部を中心に約4千人も在住するように変化し、さらに今は、経済の急変に伴い在住者が減少しております。

南米諸国は、世界でも恵まれた自然環境を基礎に、資源及び食料の供給基地として成長が期待される地域であります。まして、本県出身の多数の移住者及びその子弟が活躍される現地との交流を深めることは、極めて重要な意義があるものと確信し、本会も、時代に適応した新たな課題にも取り組んで参りたいと考えております。

本日の設立三十周年記念事業が、新興経済国として注目を集める南米諸国との交流について、改めて皆様とともに考え相互理解を深める機会となり、友好親善の一助となれば幸いです。

終わりに、この記念事業にご後援をいただいた富山県ご当局をはじめ、とやま国際センター富山県海外移住家族会、財団法人松翁記念財団、及び北日本新聞社に感謝を申し上げますとともに、本日ご参集賜りました来賓各位、会員をはじめ一般の関係の皆様、ご健勝とご多幸をお祈りし、併せて、今後の富山県南米協会に対するご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

を初代会長として富山県南米協会が発足したのであります。

以来、本会は、南米との友好親善を推進された中田前知事をはじめ、県議会や市町村、企業の皆様の暖かいご理解とご支援のもとで多彩な事業を続けてまいりました。昭和六十年には、そのユニークな活動が評価され、外務大臣表彰を受けております。

我が国は、過去に長い不況と余剰人口への対応に苦慮し、国策として海外移住を奨励した時代を経験し、近年は逆に南米から日系人が県西部を中心に約4千人も在住するように変化し、さらに今は、経済の急変に伴い在住者が減少しております。

南米諸国は、世界でも恵まれた自然環境を基礎に、資源及び食料の供給基地として成長が期待される地域であります。まして、本県出身の多数の移住者及びその子弟が活躍される現地との交流を深めることは、極めて重要な意義があるものと確信し、本会も、時代に適応した新たな課題にも取り組んで参りたいと考えております。

本日の設立三十周年記念事業が、新興経済国として注目を集める南米諸国との交流について、改めて皆様とともに考え相互理解を深める機会となり、友好親善の一助となれば幸いです。

終わりに、この記念事業にご後援をいただいた富山県ご当局をはじめ、とやま国際センター富山県海外移住家族会、財団法人松翁記念財団、及び北日本新聞社に感謝を申し上げますとともに、本日ご参集賜りました来賓各位、会員をはじめ一般の関係の皆様、ご健勝とご多幸をお祈りし、併せて、今後の富山県南米協会に対するご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

南米諸国との交流推進を期待します

五十音順

<p>にいかわ信用金庫</p> <p>理事長 千田 則行 魚津市双葉町</p>	<p>株式会社婦中興業</p> <p>代表取締役社長 竹内 茂 富山市婦中町速星</p>	<p>株式会社北日商会</p> <p>代表取締役 竹内 茂 富山市婦中町速星</p>	<p>北陸アルミニウム株式会社</p> <p>取締役社長 荒井 毅 高岡市笹川</p>	<p>株式会社北陸銀行</p> <p>特別参与 八嶋 健三 富山市堤町通</p>
<p>丸新志鷹建設株式会社</p> <p>代表取締役社長 志鷹 新樹 立山町芦峯寺</p>	<p>株式会社四方組</p> <p>取締役社長 四方 正江 射水市作道</p>	<p>米原商事株式会社</p> <p>砺波市栄町</p>	<p>YKK株式会社</p> <p>代表取締役社長 吉田 忠裕 黒部市吉田</p>	

来賓の皆様方より祝辞をいただきましたので、その一部をご紹介します。

富山県知事 祝辞

さわやかな初夏を迎えておりますが、本日、多くのご来賓や関係の皆様のご出席のもと、富山県南米協会の設立30周年記念式典がこのように盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

また、今ほど感謝状を受けられましたYKK株式会社の吉田忠裕社長、株式会社日本海コンサルタントの市森武会長、永山ニコさんにおかれましては、誠にありがとうございます。

貴協会には、昭和54年の設立以来、30年の長きにわたり、本県と南米諸国との相互理解と友好親善の促進に努めてこられました。

また、先日、雇用情勢の悪化に伴い生活に困窮する県内在住の日系ブラジル人の方々のために食料品を贈られるなど、心温まる活動に取り組んでいただいております。

また、外国人の皆さんが地域社会に円滑に溶け込めるよう、外国語による行政・生活

富山県議会議長 祝辞

富山県南米協会の設立30周年記念式典の開催にあたり、県議会を代表して一言お祝いを申し上げます。

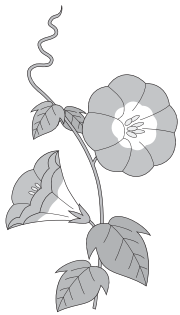
貴協会におかれましては昭和54年の設立以来、南米諸国の富山県人会との交流を深められ、留学生や海外技術研修員との交流・支援事業の実施や機関紙「南米協会だより」などの発行、ポルトガル語教室の開催など、各種の国際交流・支援事業を積極的に展開され、本県と南米諸国との友好親善に大きな成果を挙げられておりました。

特に、昨年は、「ブラジル日本移民100周年記念写真展」に主催者として参画され、当時の貴重な写真や資料を通じて移住者の方々のご苦労や、そ

情報提供や外国籍児童の教育支援、地域における相互理解の推進に取り組むなど、外国人の皆さんにとっても暮らしやすい地域づくりを進めているところとす。

か、真に心が通いあう交流を進めていくためには、行政だけでなく、民間団体も含めた幅広い交流が不可欠であり、貴協会の果たす役割はますます大きくなるものと存じます。

また、外国人の皆さんが地域社会に円滑に溶け込めるよう、外国語による行政・生活



富山県知事 石井 隆一

ら仕事を求めて来日された方々は大変な困難に直面されておられます。そうした方々にとりましては、本県在住者に対する支援に努めてこられた貴協会は非常に頼りになる存在であり、今後とも貴協会のみまますのご活躍に期待が高まるものと考えます。

富山県議会議長 梶 敬信



南米協会30周年に寄せて

在アルゼンチン富山県人会

本年は富山県南米協会が設立されて30周年に当たり、この度その記念式典、祝賀パーティが開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

在アルゼンチン富山県人会も創立から43年が経ち、先人の献身的な努力で基礎も確立して世帯数70家族、会員数270余名となり、会の親睦もますます深まっております。

在アルゼンチン富山県人会にとりましては、母国富山県は、もとより心の拠り所であり、支えであります。

また、南米協会からは、協会設立時より移住者子弟の日

終わりに、富山県南米協会の今後ますますのご発展と、本日ご列席の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたします。

富山県と南米との交流関係年表

Table with 2 columns: Year and Event. Includes entries from 1909 to 1974, such as '1909(明治42)年 富山県人初の南米移民、ペルーへ7月(満州丸16名)横浜港を出港したのをはじめ、翌年3月まで5回、県人計79名が渡航'.

Table with 2 columns: Year and Event. Includes entries from 1975 to 2005, such as '1975(昭和50)年 ポリビア富山県人会発足' and '2005(平成17)年 友好県州20周年、伯県人会45周年訪問団派遣(46名)'.

富山県からの移民数

(単位 人)

Table with 5 columns: 移住先国, 戦前移民, 戦後移民, 移住先国・地域, 戦前戦後. Includes rows for Brazil, Argentina, Peru, Bolivia, Paraguay, Chile, and a total for South American small counts.

平成21年度定期総会

6月20日(土)、爽やかな晴天に恵まれ、街路樹の緑も深みを増すなか、富山県南米協会設立30周年記念式典に先立ち、富山市の名鉄トヤマホテルにおいて、午後1時30分より当協会の平成21年度定期総会が開催された。

総会には、会員のほか多数の来賓、中南米出身の県費留学生、海外技術研修員など約100名の方々が出席された。



鹿熊会長



飯田久範 県観光・地域振興局長

増進に貢献していきたい。」との挨拶があった。

次いで、県知事代理として出席された飯田久範・県観光・地域振興局長から、

「貴協会が設立30周年を迎えられ、心からお祝いを申し上げます。貴協会は、昭和54年の設立以来、富山県と南米諸国とを結ぶ友好親善のために精力的に活動され、本県の国際交流の推進に多大な貢献をいただいている。

役員、会員の皆様の長年にわたるご尽力に対し、深い敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

県では、『みんなで創ろう！人が輝く元氣とやま』を目標に、国際化の推進については、外国人にとっても暮らしやすい多文化共生のまちづくり、多様な国際交流・協力活動への支援、グローバルに活動する人材の育成の三つに重点的に取り組んでいる。

南米との交流については、現地県人会やブラジル・サンパウロ州政府と連携し、技術

研修員や留学生の受入れ、日本語教師の派遣、友好記念奨学金の交付等の事業を実施している。

昨年は、日本からブラジルへの移住百周年の記念写真展を開催した。

貴協会におかれては、今後とも、南米諸国との友好と親善にご尽力いただくとともに、民間交流の牽引役として、県が推進する南米諸国との交流・協力事業に対しても、一層のお力添えをお願い申し上げます」との石井隆一・知事の祝辞が代読された。



稗苗清吉 経営企画常任委員長

続いて、県議会議長代理として出席された稗苗清吉・経営企画常任委員長から、

「貴協会は、設立以来、本県と南米諸国との友好親善、現地県人会との交流に大きな成果をあげてこられた。

今年も、貴協会設立30周年の節目の年であり、産業、スポーツ、文化等、幅広い分野で交流の輪が広がります。

また、貴協会への南米県人会からの信頼は厚く、貴協会には、富山県と南米諸国との友好親善の架け橋として、更にご尽力をいただきたい」との梶敬信・議長の祝辞が披露された。

そして出席いただいた来賓の方々、海外技術研修員、国費留学生らの紹介があり、会場から温かい拍手が送られた。

平成21年度 事業計画

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日

I 事業方針

本協会の設立目的に沿い、中南米諸国において活躍されている富山県出身移住者及び関係者との絆をより一層強めるとともに、父祖の郷土富山の地縁・血縁並びにその風土に培われた文化をよりどころとして、今後とも、さらに本県と移住先との交流を深め、これらの諸国・地域との友好親善の促進に寄与するため、次に掲げる事業を実施する。

II 事業計画

1. 機関紙の発行事業

前年度に引続き「南米ととやま」を年2回、「南米協会だより」を年4回発行し、中南米諸国の情報、本県出身者の消息及び県内の出来事等を掲載して、会員及び関係機関に送付するとともに、南米各国所在の県人会本部及び支部にも航空便により送付する。

2. 南米情報の収集事業

ブラジルの邦字新聞等を購読するのをはじめ、南米各国の現地県人会或いは国内外の関係機関などから中南米地域に関する各種の新しい情報を積極的に収集する。

3. ポルトガル語教室開催事業

南米諸国を理解し、友好親善の促進を図るためには、コミュニケーションの手段としての言語による対話が最も効果的であり、相手のことばと文化を知ることが重要である。本年度も富山市及び高岡市の両会場において、ブラジルの公用語であるポルトガル語教室を開設する。

4. 留学生及び海外技術研修員の受入協力事業

21年度に富山県に招かれる南米諸国出身の県費留学生及び海外技術研修員が、滞在中に県内各地で行う交流活動等に対し協力支援する。

なお、本会会員が企画する各種の交流行事等に当該県費留学生及び海外技術研修員が参加できるよう、受入れ大学、研修先等の関係機関に配慮と協力を呼びかける。

5. 郷土訪問者の歓迎事業

一時的に県内に里帰りされる南米諸国からの帰国訪問者に対し、短期かつ効率的に富山の風土に親しんでもらうため、関係機関、団体等との連携のもとに、県内の産業、文化施設及び自然景観に優れた立山などへ同行案内するのをはじめ、必要に応じ懇談会を開催して情報交換等を行う。

6. 南米諸国関係者との友好・交流事業

南米各国に所在する現地の富山県人会との交流並びにこれら諸国地域の出身者で、県内の大学、企業等で研究や技術習得のため在住する留学生、研修員及び同伴家族等との交流を深めるとともに、文化や経済的な分野において、本県と南米諸国との更なる友好親善の促進を図る。

7. 移住者への援護事業

本県出身の南米移住者が、万一、病気、事故等による長期入院をはじめ、火災、天変地異による自然災害等の不慮の事態に遭遇された場合において、立直りのために支援が必要と認められるときは、本会の「移住者援護基金積立金」を取り崩し、現地県人会等を通じて見舞金を贈る。

8. 日本語の普及事業

ブラジルをはじめ中南米諸国の本県出身移住者の子弟の日本語学習に役立てるため、広く県民各位にも寄贈を呼びかけて収集した書籍等の資料を、本会で購入する新刊書と併せて南米各国所在の現地県人会の本部及び支部に対し送付する。

- ①幼稚園、保育所の児童向けのやさしい絵本など
- ②富山県の文化等を紹介する本やCD、ビデオなど
- ③一般向けの図書

9. 県内在住の南米出身者支援事業

県内に在住する南米出身の日系人（約4200人）のうち、多数が最近の急激な経済の減速による雇用情勢の悪化に伴い、職を失い困窮している。これらの日系ブラジル人等に対する支援に努めるとともに、地域における支援体制の充実について関係機関に働きかける。

- ①民間支援団体と連携し、物心両面の支援に努める。
- ②日本語習得や問題解決の助言等の相談を行う。

10. 県出身関係者の調査事業

南米諸国との国際交流、友好親善の更なる進展に寄与するため、南米諸国へ移住された先駆者から現在までの本県出身関係者とその家族（三世代まで）を継続して調査する。

11. 設立30周年記念事業

(1)富山県における記念事業

南米協会が県内各界の深いご理解と将来を洞察した英知により、昭和54年10月に設立されてから、本年度は30周年を迎えたので、次のとおり記念事業を行う。

- ①記念式典
- ②記念講演（講師 ブラジル県人会 根塚 弘会長、林 忠行顧問）
- ③シンポジウム（パネルディスカッション）
現地に日本語教師として派遣された経験者約5人による貴重な体験談等の公開
- ④記念パーティ
（来賓、海外移住家族会、当協会会員等）

(2)南米訪問団派遣準備事業

富山県及び本協会にとって来（平成22）年度は、とくに南米ブラジルとの関係において記念すべき重要な節目にあたるので、富山県及び市町村から知事をはじめ首長及び議会関係者並びに海外移住家族会会員、当南米協会会員のほか一般県民（公募）を含む南米訪問団を派遣するための事業の準備を行う。

参考

- ①1910(明治43)年の富山県人南米移民100周年
- ②1960(昭和35)年のブラジル富山県人会発足50周年
- ③1985(昭和60)年の富山県・サンパウロ州友好提携25周年

12. 南米関連イベントへの協賛等

県内において開催される中南米に関連するイベントで本会の趣旨に照らして適切なものに対し、協賛又は後援を行う。

平成21年度収支予算

自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

収入の部

(単位 円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額 A, 前年度予算額 B, 比較増減(△) (A-B), 備考. Rows include 会費, 助成(負担)金, 繰入金, 諸収入, 寄付金, 雑収入, 繰越金, 合計.

支出の部

(単位 円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額 A, 前年度予算額 B, 比較増減(△) (A-B), 備考. Rows include 事業費, 機関紙発行費, 南米情報収集費, ボルトガル語教室開催事業費, 留学生・技術研修員受入協力費, 郷土訪問者歓迎事業費, 懇談・交流事業費, 移住者援護事業費, 日本語普及事業費, 在県南米出身者支援事業費, 県出身関係者の名簿整理事業費, 30周年記念事業費, 30周年記念事業, 南米訪問団派遣事業準備費, 事務局費, 会議費, 事務経費, 人件費, 旅費・交通費, 光熱・通信運搬費, 印刷費, 消耗機材費・雑費, 賃借料, 予備費, 合計.

富山県南米協会 名誉会長・名誉顧問、顧問・相談役・役員名簿

Table listing names and titles of honorary members, advisors, and staff. Includes names like 石井 隆一, 中沖 豊, 長勢 甚遠, etc., and their respective roles.

日本語普及事業等を承認

続いて、鹿熊会長を議長として議事が進められ、まず、平成20年度の事業報告及び収支決算について、橋本事務局長から説明が行われた。

〈主な項目〉

- ①機関誌発行(「南米ととやま」2回、「南米協会だより」4回)
②南米情報収集
③ポルトガル語教室の開催(富山、高岡の二会場)
④県費留学生及び海外技術研修員の受入協力(県内での交流機会提供、激励会など)
⑤南米からの郷土訪問者歓迎
⑥日本語の普及(南米の県人会本部・支部20ヶ所に計五〇九冊の書籍



定期総会の様子

を寄贈、日本語学習用DVDソフト「ブラジルの4つの伝説」を配布。
⑥在県南米出身者支援
⑦県人移住者・家族名簿改訂
⑧ブラジル日本移民百年記念写真展
この後、森岡監事から監査報告があり、20年度事業報告、収支決算とも満場一致の拍手で承認された。
次に、平成21年度の事業計画案及び収支予算案について

祝電披露(順不同)

- 前富山県知事 中沖 豊
衆議院議員 長勢 甚遠
衆議院議員 宮腰 光寛
衆議院議員 綿貫 民輔
衆議院議員 萩山 教厳
衆議院議員 村井 宗明
衆議院議員 河合 常則
衆議院議員 萩山 教厳
衆議院議員 山田 俊男
衆議院議員 又市 征治
衆議院議員 野上 浩太郎
前参議院議員 夏野 元志
参議院議員 柴田 巧
富山県議員 森 雅志
富山県議員 分家 静男
射水市長 澤崎 義敬
津市市長 砂原 孝隆
北日本新聞株式会社 代表取締役社長 河合 隆

高岡市長が辞職

高岡市長の橋本一郎氏は、このたび国政選挙が秋までに行われる情勢の中で、6月市議会終了後の同19日付けで市長職を辞した。なお、奥田紀元副市長も同日、病氣治療のため辞任した。

全国商工会連合会の会長に石沢氏



石沢義文氏

南米協会副会長の石沢義文氏(77)は、長年にわたり県内十四の商工会のまとめ役である富山県商工会連合会会長を務められ、このたび、本年6月1日から全国商工会連合会の会長(任期3年間)に就任された。

高岡市長に高橋正樹氏

前市長橋本一郎氏の辞職(6月19日)に伴う高岡市長選挙は、7月5日に告示され、同12日(日)に投票が行われた結果、高橋正樹氏(55歳)が当選した。



高橋正樹氏

高橋氏は、総務省大臣官房審議官や新潟県副知事などの経歴があり、選挙に出馬を決定する前までは、財団法人地域創造の常務理事を務めていた。任期は、当選の日から4年間。

サンパウロ外国為替市況

7月15日(ニッケイ新聞)

Table showing exchange rates for USD and BRL. Includes columns for 米ドル相場, 円相場, and 買/売 rates.

いずれも原案通り承認された。次いで、役員改選について、平村理事長から、27回は、2年ごとの全員改選の年である。推薦母体の人事異動等の理由で、何名かの役員に異動があるが、他の役員には再任をお願いしたい。との提案が行われ、全会一致で承認された(上記参照)。
終わりに、鹿熊会長から、出席会員、県及び県議会をはじめとする関係各位に対し、ご理解・ご協力への謝意が示され、総会は終了した。